

# まちづくりフォーラム 開催結果【概要版】 2020

◆中標津町におけるまちづくりの取組状況を広く町民と共有するとともに、**今後のまちづくりの在り方について一緒に考え、行動するきっかけをつくること**を目的としてフォーラムを開催しました。

◆フォーラムの全体参加者数は、**99名**となりました。たくさんの皆様にご参加いただき、大変ありがとうございました！

**日時 2020年2月1日（土） 13：30～16：00**

**場所 ウェディングプラザ寿宴**

## <当日の流れ>

13：30 開会挨拶

13：35 第1部 話題提供

①【情報提供】都市マスの見直しと街づくり協議会の取り組みについて

中標津町都市住宅課

②【講演】掛川市の「まちづくり」について ～市民力によるまちづくり～

掛川市協働環境部部長 栗田 一吉氏

14：30 第2部 みんなで話そう！対話の場

15：50 講評

（掛川市協働環境部 部長 栗田 一吉氏、北海道大学名誉教授 小林 英嗣氏

16：00 閉会



## ① 開会挨拶

- ◆ 西村町長から開会の挨拶をいただきました。
- ◆ これまでの都市計画ではインフラ整備を進めてきましたが、**人口減少**に突入し、将来は2万人を切ると言われている中、**将来的にどのように支えるか**、考えていかなければならないというお話がありました。

みんなで  
考えよう！



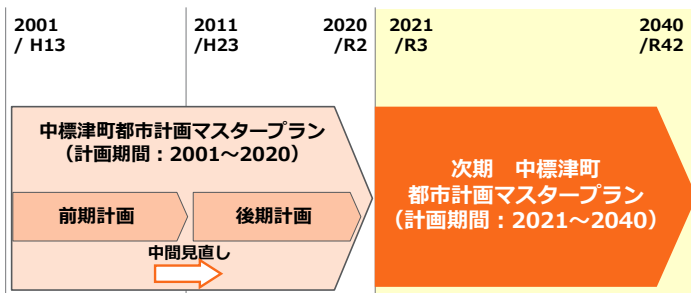
## ② 第1部 話題提供 その1

- ◆ 中標津町都市住宅課から都市計画マスタープラン（都市マス）について話題提供がありましたので、概要を紹介します。

### 【情報提供】都市マスの見直しと街づくり協議会の取り組みについて

#### <都市マスの見直し>

- ◆ 都市計画マスタープランの役割は、**暮らしやすいまちづくりのための設計図**。大切な役割は、**将来都市像を示すこと**、そして**地域協働を促進**すること。
- ◆ 現在の都市マスの計画期間は2020年で終わるため、策定委員会で次の計画を検討している。
- ◆ 来年度12月前までを目指して計画を取りまとめる。



#### <街づくり協議会の取り組み>

- ◆ 各地域でもテーマを設けてまちづくりを進めている。現在活動している**街づくり協議会**を紹介。
- ◆ **中心部地域街づくり協議会**：平成23年から9町内会で設立し、主に**親水広場**で活動をしている。来週の冬まつりでも**ライトアップ事業**を行うことになっている。
- ◆ **西部地域まちづくり協議会**：平成24年から4町内会で設立し、**親子たこづくり・たこあげ大会**や、昨年からは**真冬の災害避難所体験**も行っている。
- ◆ **西町・川西街づくり協議会**：平成23年に2町内会で設立し、**緑の名所マップ**の作成や、**桜の植樹・育樹**や**花の寄せ植え事業**などを行っている。



#### <これからのまちづくりと対話の場>

- ◆ **対話の場**とは、**相手の意見を尊重し、相手の立場に立って、新たな解決策を導く話し合い**のこと。
- ◆ **市民が主体のまちづくりを進める先進地**（静岡県の掛川市と牧之原市）を視察して、**対話を重ねること、ひとづくりに取り組むことの大切さ**を学んできた。
- ◆ 今までも、対話の場を通してたくさんのアイデアが出てきた。
- ◆ 今日のフォーラムをはじめ、**対話の場を重ねながら、中標津町のひとづくり・まちづくりを進めていきたい。**

## ②第1部 話題提供 その2

◆ゲストである掛川市協働環境部部長の栗田一吉さまから「掛川市のまちづくり」について話題提供がありましたので、概要を紹介します。



### 【講演】掛川市の「まちづくり」について ～市民力によるまちづくり～

#### <掛川市のまちづくりの3つのステージ>

##### ①報徳思想・仕法の時代（江戸・明治）

- ◆二宮金次郎の像は、掛川市では現在すべての小中学校に像がある。
- ◆もともと二宮金次郎は小田原出身であるが、掛川市の豪農である岡田氏が二宮金次郎の弟子から教育を受けてその考えを広め、**大日本報徳社**を設立した。
- ◆大日本報徳社の正門には、「**経済無き道徳は寝言であり、道徳無き経済は犯罪である**」という言葉が刻まれている。
- ◆報徳仕法は、誠を尽くして一生懸命働き、己の分を知って贅沢を慎み、残った余剰を人に譲る（**至誠、勤労、分度、推譲**）という教え。例えば日本最古の信用金庫は掛川信用金庫で、報徳の精神に基づき創立された。

##### ②生涯学習の時代（昭和）

- ◆昭和54年に**全国初の生涯学習都市宣言**をした。学ぶことは学校だけではなく、**生涯学び続けてその成果をまちづくりで恩返しする**という、報徳の精神を示したもの。
- ◆掛川市では、**報徳思想**という独自の文化の中で**市民力を使ってまちづくりを進めてきた**。例えば、新幹線駅を作ろうという動きがあり、総事業の100億円のうち30億円は市民の募金により実現した。

##### ③市民協働の時代（現在）

- ◆行政側も、人口減少による財政減でお金の面でも厳しくなっている。
- ◆行政が旗を振ってみんなついて来いという時代から、**市民が主体となって行政が後ろから背中を押す**ようであれば成り立たない時代となった。
- ◆地域の課題に一番詳しい地域の人々が、**知恵を絞ってまちづくりに取り組む**ほうがより建設的で役立つものになる。
- ◆現在、掛川市では自治基本条例を制定し、**市内に31のまちづくり協議会**がある。**地域に必要なことを地域でやってもらい、それを行政が支えている**。

#### <掛川市の取り組み例>

- ◆免許証を返納したが、移動手段のない高齢者、直近のバス停まで遠い方、通院や買物で困っている方等に対し、**まちづくり協議会が生活支援車を運行**。「市に何を頼むか？でなく、自分たちに何ができるか？」との思いからスタート。

#### <掛川市のまちづくり協議会の課題>

- ◆まちづくり協議会の人手が足りない。
- ◆自治会長とまちづくり協議会の会長がいて重複もあるなど、**2重構造**になっており、**地域自治組織の在り方の再考**が必要。
- ◆まちづくり協議会の事業の見直しでシンプル化が必要。
- ◆事務長などの**事務局体制**や、**自立できる仕組み作り**が必要。
- ◆行政からの“補助金頼み”で無く、**自らが収入を得て、活動資金へと循環させる**ことが必要。
- ◆現在のまちづくり協議会は、規模がバラバラ。担い手不足を解消し、効率化するためには、**小規模な組織は合併等**が必要。

掛川市って  
どこにあるの？

- ✓ 掛川市はもともと1市2町が合併して誕生したまち。
- ✓ 主要農産物はお茶！（会場でもみんなで掛川茶を味わいました）

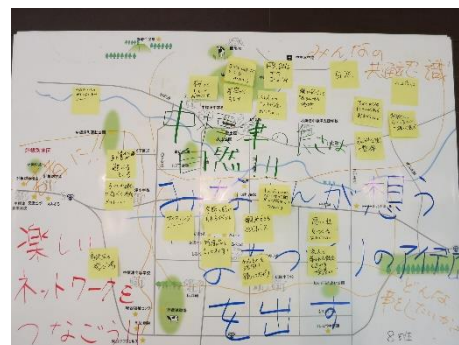


### ③第2部 みんなで話そう！対話の場

◆ 12テーブルに分かれて意見交換を行い、中標津町を暮らしやすく素敵なまちにすることをテーマに、**参加者のみなさんが**想う「まちづくりのアイデア」を出しました。**町民ファシリテーター**の皆様が各グループの進行役となって対話を進めました！



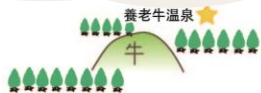
Wow!  **グループごとに作成したまちづくりのアイデアマップ**



# 対話の場で出されたまちづくりのアイデア



- ◇ 臭気対策
- ◇ 開陽台でフェスイベント！（星空を見ながらお酒、食、音楽…）
- ◇ 開陽台に道の駅！



- ◇ 330 マラソンのバージョンアップ（マラソンと一緒に家族ぐるみでできるイベント）
- ◇ カメラマンツアーを考える（道内・道外）

- ◇ 空き店舗を活用し、コミュニケーションの場をつくる
- ◇ 計根別の子供の遊び場、お年寄りの散歩等も楽しめる
- ◇ 農高の作ったものをあちこちで販売したい！ほしい！

## 計根別地区



- ◇ 歴史の生き証人なので、守り活用したい
- ◇ 中標津町立博物館にしたい
- ◇ 学習の場、憩いの場に
- ◇ 白樺並木にベンチを置いて、たそがれる

- ◇ 高校生が興味を持てるネットワークをつくる！

- ◇ 南1号道路に農地を利用して道の駅を作る



- ◇ 婚活課をつくる！！
- ◇ イベントを取りまとめる部署をつくる

- ◇ 末広公園を蘇らせる（例）町内会ごとに花壇整備

- ◇ 道の駅！（郷土館との施設等）



- ◇ 部活動やねじれ現象の解消（合唱や吹奏）

◆ いただいたご意見は、都市マスの見直しや今後の協働のまちづくりにつなげ、できることから実現を目指します。

◆ どんなご意見が出たか、たくさんの意見の中から一部をご紹介します。

## ＜まちづくり全体に関するご意見＞

- ◇ まちづくりは、ひとづくり
- ◇ 対話の場づくり「大人も子供も」
- ◇ 行政と町民の連携
- ◇ 若者のアイデアを実現できる町に！（アニメなど）
- ◇ 楽しい防災、避難練習、お茶会に集まる感じで顔を合わせる
- ◇ みんなの共通認識、中標津の良さは自然！！
- ◇ 食文化は人を寄せる
- ◇ 無駄を削って教育にお金を！！

- ◇ 中心市街地歩く人が少ない
- ◇ 余分なものが無いのがよい
- ◇ 子供からご年配の方が一緒に交流できる場所を作る（多世代交流）
- ◇ 安全な街づくり子供の一人歩き OK な街
- ◇ 起業家、優良企業、工場等の誘致
- ◇ 日本語学校の生徒さん達とイベントを通じて交流を深める
- ◇ 非日常を楽しむ！（道路をとめてスキースノボ、ビール）
- ◇ 若者が遊ぶ場所をつくること！！（Eスポーツ等）
- ◇ 若い人が住んでみたいと思えるところをつくる
- ◇ 年寄りが集まれる場所
- ◇ 外でカフェのように過ごせる場所
- ◇ 空き家・店舗の利活用
- ◇ 空き店舗を活用した屋台村
- ◇ 子どもが町を出て行っても思い出を作れるように体験型のイベント！
- ◇ 町主催のハンドメイド品の販売イベント
- ◇ 町の総合案内場もバスセンターを活用して町のみんなが参加できるスペースに！
- ◇ Wi-Fi つながるところあればいい



- ◇ 小さいバスにして272号の路線増！
- ◇ バスの利用券が欲しい
- ◇ 町営バスを見直したい

#### ④ 講評

- ◆最後に、掛川市協働環境部部長の栗田一吉さまと、本都市計画マスタープラン策定委員会で委員長を務めておられる、北海道大学名誉教授の小林英嗣さまに、講評をいただきました。

### 掛川市協働環境部部長 栗田一吉さま

- ◆みなさんの**地元愛溢れるアイデア**に感心した。今日の意見を聞いて大変参考になったので、持ち帰って共有したい。
- ◆アミューズメントに関する話や、歩行者天国を作るといった話があった。掛川市では、掛川駅からお城まで400メートルくらいの道路があり、週末は一定の間隔で**歩行者天国にして軽トラ市などのイベント**をやっている。アニメについては、例年11月に**ポップカルチャーサミット**というのをやっていて、痛車やコスプレの撮影会なども行っている。
- ◆屋台村の話があったが、**帯広の屋台村を参考に駐車場を改装して開始**してから、10年近く経つ。そこで修行してある程度たったら独立してもらおう仕組みとなっている。
- ◆交通の話があったが、掛川市もバスがたくさん走っているが、ほとんどが空気を運んでいるようなもので、それを何とかするために、来年の4月から半年間70歳以上の人は一部の路線を**無料で乗れる実証実験**を行うこととしている。



### 北海道大学名誉教授 小林 英嗣さま

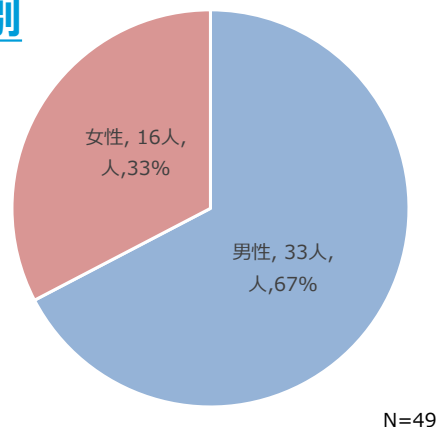
- ◆もう20年近く中標津町とはお付き合いをしているが、今日ほど**活発にまちの方が意見を出した場**はなかったのではないかなと思う。
- ◆まちづくりというと道路を作ったり、建物を作ったりという「作る」ほうに目が行ってしまうものである。確かに20年くらい前は作ることが主体であったが、町長も言っていたように、これまで十分作ってきたのである。
- ◆これからは、**どんどん街を使い倒していこう**、というのが令和のまちづくりになってくる。
- ◆もう一つ大切なのは、高校生や子どもという視点が出てきたが、今までまちづくりを考えると、自分のことを何とかしてほしいという要望が多かった。**子どもたちにいかにいい贈り物をするかが大切**である。
- ◆この間パリにお店を出している小林圭という人が日本人で初めて三ツ星を取ったが、フランスの料理人は、**日本の発酵食品**にもものすごい興味を持っている。発酵する味付けは日本独特で、単に足し算するのではなくて、そこには技術や文化がある。
- ◆まちも、時間がどんどん立っていくと、「**発酵するまち**」と「**腐っていくまち**」がある。**発酵するために必要なのは酵母**である。「**熟していくまち**」には、**まちの中に志や想いなどを持った酵母になるようなまちの人**がいる。逆に酵母になるまちの人がいないと腐っていく。
- ◆今日は酵母になるような人が来ているので、今後まちが発酵していくような動きがあり、また、酵母は酵母を呼ぶので、さらに増えていくのではないかなと思う。
- ◆**こういう機会を何度も繰り返していくこと、そして行政は住民の方を信じて色々なことを付託していくことが重要**である。



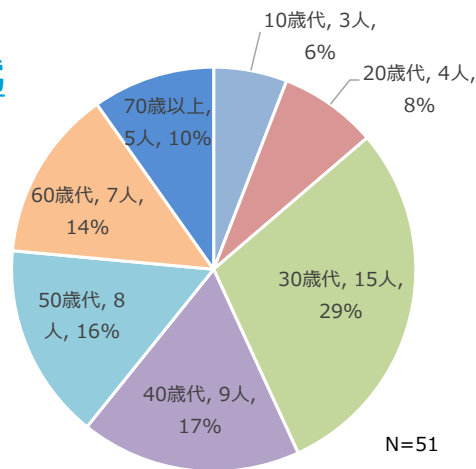
## <参加者アンケート（概要版）>

- ◆ 様々な性別、年代、地域の方にご参加いただきました。
- ◆ 第1部、第2部ともに「とても良かった」「良かった」という回答が90%以上を占めています。
- ◆ 特に、対話の場については、今後も参加したいという声を多数いただきました。

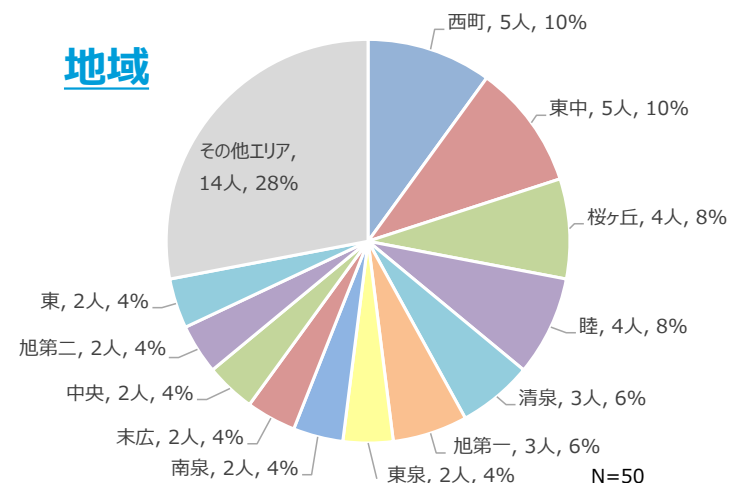
### 性別



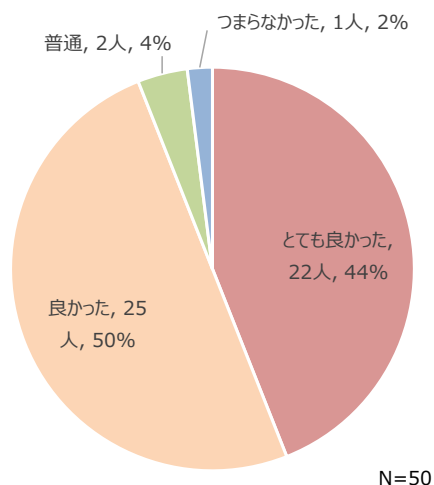
### 年代



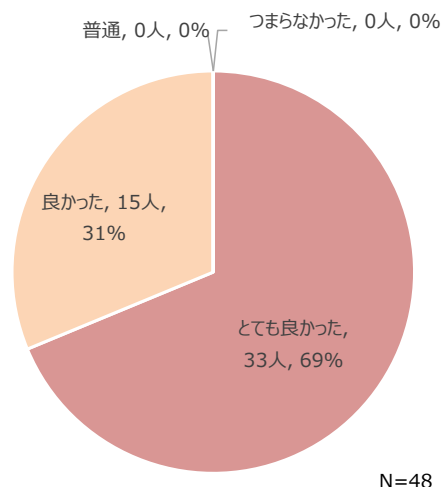
### 地域



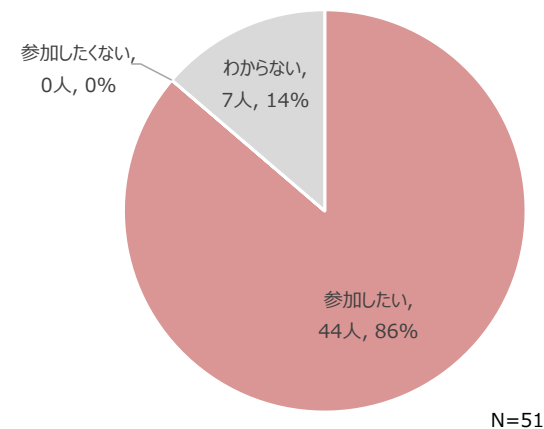
### 第1部の話題提供の感想



### 第2部の対話の場の感想



### 対話の場への参加意向



今後も対話の場を重ねながら、皆さんと一緒に中標津町のひとづくり・まちづくりを進めます